

# TOPICS

## 4月着任医師のご紹介

2024年4月1日より当院に新たに医師2名と歯科医師1名が着任しました。医師の経歴、資格についての詳細は当院ホームページの医師紹介をご覧ください。

### 消化器外科 科長 澤野 武行 先生

令和6年4月から消化器外科に着任しました。平成18年に弘前大学を卒業後、主に青森県内の病院で消化器外科医として診療に従事してきました。微力ながら地域医療に貢献したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



### リハビリテーション科 医員 縣 樹生 先生



はじめまして。4月からリハビリテーション科で勤務いたします縣樹生です。一生懸命精進いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

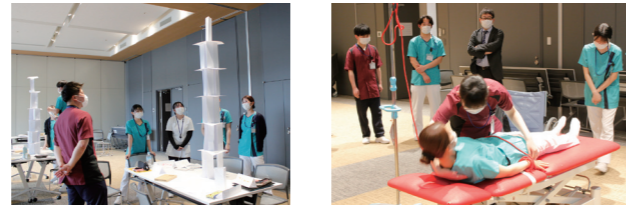
### 歯科口腔外科 医長 古阪 有 先生

本年4月よりお世話になります歯科口腔外科の古阪有と申します。新しい環境で皆さんのお力に少しでもなれるよう尽力させていただく所存です。慣れるまでは至らぬ点が多々あると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。



## 新入職員を迎えて

4月1日～7日、新入職員オリエンテーションが行われました。今年度は医師、歯科医師、看護師、臨床検査技師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、事務員の合計21名の職員仲間入りしました。各部署の代表による部署紹介や診療科の内容、医療安全の基礎、防災、感染対策など、病院で働くために必要な様々な講義を受けた他、チームワークを図るための「チームビルディング研修」や移乗介護について学ぶ「トランスファー実習」にも取り組みました。今後も各配属先で先輩方の指導を受けながら日々勉強していくこととなります。新入職員の皆さん、初心を忘れずがんばってください！



コロナ禍でここ数年は自粛していた新入職員歓迎会も今年は4年ぶりに開催され、親睦を深めました。



## 頭の体操 まちがいさがし

左右を反転させた2つの絵にはちがうところが7つあります。さがしてみましょう。



※解答は次号vol.35(2024年8月号)に掲載します

## 編集後記

2024年も6月を迎え、今年もあと半年だなぁと実感しております。さて、6月に入ると梅雨の時期がやってきますね。ジメジメして気分が下がりがちなので、少しでも気分を上げようと新しく雨傘を購入しました。これで梅雨を乗り切れそうです。そして梅雨があけるといよいよ夏も本番！今年の夏も暑くなりそうですが、熱中症に気をつけながら暑い夏を思いっきり楽しみたいと思います。(H.H)



地域連携だより「KADERU」  
編集顧問 片山容一・末綱太

# KADERU



[堤川]  
撮影 石田 亨一

## Contents

- 形成外科の診療について ..... 藤井 暁
- 脳神経内科医が語る医学雑学 第11回  
サッカーと認知症 ..... 布村 仁一
- 総合診療科よろず医療 第12回  
睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査を受けてみませんか? ..... 佐々木 洸太
- 部署紹介 7病棟
- TOPICS

もしかして 脳卒中?! ~ こんな症状があれば様子見ではなく、すぐに119番へ! ~

<b>F</b> ace (フェイス) 顔の歪みや 顔の麻痺	<b>A</b> rm (アーム) 腕や足に 力が入らない	<b>S</b> peech (スピーチ) 言葉が出ない ろれつが回らない	<b>T</b> ime (タイム) 症状に気付いたら 至急119番!
--------------------------------------	-------------------------------------	---	---

Time is Brain (時は脳なり) ... 脳梗塞の治療では発症より血行再開までの時間短縮が重要です!!

## 形成外科の診療について

形成外科は、機能回復やQOL向上を目的とした専門外科分野であり、整容的・機能的な要素を考慮した再建を行います。全身の主に体表のあらゆる部位の組織異常、変形や欠損などの疾患を対象としています。

当科では、青森市を中心とした地域診療の一環として形成外科診療を行っており、年500件前後の大小さまざまな手術などの治療を行っています。次に当科で行っている主立った診療内容についてご紹介いたします。

### ▶皮膚・皮下腫瘍など

年500件前後の手術のうち、半数程度が皮膚・皮下腫瘍など、腫瘍関係の手術となります。粉瘤や母斑など様々な腫瘍に対して切除などの手術を行います。顔面などの露出部の腫瘍については、瘢痕が目立たないよう、真皮縫合や細かな皮膚縫合を行っています。体幹の腫瘍についても、瘢痕の肥厚がなくなるよう、皮下の減張縫合も行い、できるだけ綺麗な瘢痕になるよう様々な工夫をしながら治療をおこなっています。特殊な良性腫瘍として、耳介のケロイドがあります。ピアス孔痕などから増殖性に増大する腫瘍で、できるだけ耳介の形態を温存してケロイドを摘出して創を閉鎖、その後は再発を予防する目的でステロイド（ケナコルト）の局所注射を数回行うなどの治療を行っています。皮下脂肪の深部に生じる脂肪腫は、良性でも徐々

形成外科 部長  
藤井 暁 先生

### ▶眼瞼の疾患についての治療

当科では、眼瞼下垂や下眼瞼内反など様々な眼瞼疾患の治療を行っています。眼瞼下垂は、上眼瞼が下垂することにより、視野が狭窄して様々な症状を呈します。顎を突き出して、狭い瞼裂から視界を保とうとして頸部を後屈させ、結果、後頸部の痛みや肩こりの症状が出やすいとされます。また前額部の筋肉の力で眉毛ごと眼瞼を持ち上げようとする動作が続き、前額部の疲労感を伴います。何よりも視界が妨げられるため歩行や自動車の運転など、日常的な行動に危険を及ぼす可能性があります。

眼瞼下垂には、加齢により上眼瞼の皮膚が弛緩して余剰皮膚が視界を妨げるもの、上眼瞼を持ち上げる挙筋能が低下するもの、長年ハードコンタクトレンズ使用などのため、眼瞼の中の挙筋腱膜という眼瞼を挙上する力を伝える腱膜が眼瞼支持組織の瞼板からはずれて、うまく開瞼できなくなるものもあります。これらの下垂には、余剰皮膚の切除や挙筋腱膜の前転（挙筋腱膜を引き出して瞼板に再固定）の手術を場合によっては組み合わせて行っています。前額の顔面神経麻痺などの後遺症では、眉毛吊り上げなどの治療を行います。

眼瞼内反は主に下眼瞼が眼球側に内反し、睫毛が角膜に当たり、不快な症状を呈する疾患です。睫毛が外反するよう形成手術を行います。再発しづらい術式で治療を行っています。眼瞼の手術については、整容的に不自然にならないよう十分に考慮しながら治療しています。

### ▶レーザー治療

レーザー治療は、赤あざ（単純性血管腫や乳児血管腫など）に対して色素レーザー（Vbeam）、青あざ（太田母斑、異所性蒙古斑など）や加齢性色素斑などについてルビー系レーザー（Qスイッチ付キルビーレーザー）、老人性疣贅などに対して炭酸ガスレーザーなどで照射治療を行っています。

その他、体表の疾患について幅広く治療を行っており、青森市を中心とした地域医療に貢献できるよう、診療対応していきたいと考えています。

連載

## 脳神経内科医が語る医学雑学（全12回）

脳神経内科 部長  
布村 仁一 先生

### 第11回 サッカーと認知症

皆さんこんにちは。青森新都市病院 脳神経内科の布村です。つい数日前、イングランドのサッカー協会が11歳以下の子供において試合でのヘディングの使用を段階的に禁止すると発表しました。実は英国ではその数年前から子供のヘディング練習が禁止されており、アメリカでは2016年から少年サッカー選手におけるヘディングの禁止が発表されていました。サッカーは全世界で2億6000万人の競技人口を誇る世界で最も人気のあるスポーツです。私も大好きで、日本代表が関係する国際大会は放送が深夜からでもついつい見てしまっ、翌日大変つらい思いをしています。ご存知のようにサッカーは上肢の使用が制限されながらボールを扱うスポーツで、頭でボールをコントロールするヘディングはサッカーにとってなくてはならない技術と言ってよいでしょう。

ではなぜ、子供のヘディングが制限されることになったのでしょうか？2019年、元サッカー選手はアルツハイマー型認知症をはじめとする神経変性疾患の発症リスクが一般の人と比べて3.5倍も高い事が報告されました。なぜサッカー選手で？実は1920年代からボクサーにはボクサー脳症、パンチドランクと言われる疾患を発症する選手がいることが報告され、反復的な頭部への打撃が原因だろうと考えられていまし

## 総合診療科 よろず医療

### 第12回 睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査を受けてみませんか？

青葉若葉の候、当院でも4月に迎えた新入職員が研修を終えて直接皆様と接するようになって参りました。医療者は患者さんを通して学び、成長していくため、患者さん・ご家族との出会いや関係がとても大切です。これからも青森新都市病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。今回は睡眠時無呼吸症候群についてお話しさせていただきます。

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome: SAS）は、簡単に言えば、「いびきをかいて途中で呼吸が止まる病気」です。舌の根部が落ち込んで空気の通り道が閉塞する「閉塞性睡眠時無呼吸症候群」と、心不全や脳卒中の後遺症などによる「中枢性睡眠時無呼吸症候群」の二つに大きく分類されます。SASは睡眠中に呼吸が一時的に停止して低酸素、睡眠の質の悪化を起し、日中の過度な眠気

総合診療科 医長  
佐々木 洸太 先生

### 部署紹介 7病棟

看護師長 佐藤 薫 さん

こんにちは。7病棟を紹介します。

7病棟は回復期リハビリテーション病棟で、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの急性期の治療を終えた患者さんが、リハビリを目的として入院する病棟です。1人の患者さんに対して、医師、看護師はもちろん、リハビリスタッフや連携スタッフ、薬剤師、栄養士みんなが協働して退院まで支援するためとても賑やかな病棟です。

患者さんもりハビリ中はとても辛いけれども毎日頑張っております。お食事や入浴もリハビリの一貫なので、特定の患者さんはサロンで食べていただき、入浴も評価しながら出来ないことを援助して自立へと導いていきます。出来なかったことができるようになった事を、患者さん家族も一緒になって喜んで退院されるので、私たちスタッフも嬉しく、とてもやりがいのある仕事だと思います。これからもスタッフ一同、患者さんや患者さん家族との信頼関係を構築しながら看護を提供していきたいと思ひます。